

TSUNAMI通信

第 134 回 TSUNAMI ビジネスプラン発表会 & 特別講演会 ～～ 神奈川県中小企業活性化推進月間イベント ～～

【平成 23 年 2 月 9 日(水) 開催 会場： 岩崎学園 (新横浜1号館 8F)】

本年最初のビジネスプラン発表会は、ベンチャー企業3社による発表のほか、NPO 法人ベンチャー支援機構 TSUNAMI 副理事長である呉雅俊による特別講演会「新時代におけるベンチャー企業の成長戦略～イノベティブカンパニーをめざして～」および懇親会が開催されました。また、TSUNAMI 発足当時より多大な支援を頂いている神奈川県では、本年2月を「神奈川県中小企業活性化推進月間」とし、地域産業力の強化に向けて、中小企業の活性化の推進に取り組んでいます。そして、企業・団体・NPO など多様な担い手との連携・協働により、中小企業に対する創業、技術、経営、人材育成などの各種支援事業(イベント、講習会、相談会等)が企画されました。この度、2月の当 TSUNAMI ビジネスプラン発表会が、この「中小企業活性化推進月間」のイベントのひとつとして開催され、約 80 名の方々にご参加頂き、大変盛況にて閉会しました。ご参集頂きました皆様に御礼申し上げます。今回は2枚にわたり、発表会および特別講演会のレポートをお届けします。

～～～ ビジネスプラン発表会 ～～～

1. 有限会社ジーエムメンテナンス 代表者 三浦 剛 氏

【設立】1999年11月

【住所】富山県高岡市西藤平蔵1563-4 【資本金】3,000千円

【事業概要】給水管洗浄内に付着した錆や不純物を、給水管洗浄装置を使用し圧縮エアを打ち込み給水管内部を洗浄する施工を行っている。管内を気泡が高速で移動する時に高周波を生じ、管の内面に付着しているスライム・スケール等の異物を剥離して水と共に排出される工法を全国対応にて行っている①断水時間が短い②薬品等を一切使用しない③強い圧力を加えないので、水道管を傷めない④施工費が安価です⑤1部屋単位の洗浄が可能。以上の特徴がユーザーニーズに沿った施工として全国からの引き合いが増えてきている。また現在新型洗浄機の開発を洗浄機メーカーと共同開発しており今年6月に特許共同出願の予定である。

【コメント】いくら水道蛇口周りに浄水機器を取り付けたところで、給水管の内部が汚れていることを思うと水道水を飲むことに抵抗があったのですが、こちらの商品はまさにその給水管を、内部からキレイにする優れモノです！デモの映像を見ましたが、錆や汚れが一気に取り除かれ、どす黒いほどに汚れた水がごうごうと流れ出る様子に驚きました。事業パートナー(販路含)を探されていますので、お心当たりのある方は是非ご連絡下さい。



発表者は管理部長の九鬼様

2. DCGシステムズ株式会社 代表者 戸田 徹 氏 (発表者 九鬼管理部長)

【設立】2008年11月

【住所】横浜市港北区新横浜3-8-8 日総16ビル2F 【資本金】10,000千円

【事業概要】半導体設計検証及び故障解析に必要な最先端技術を提供してきたUSAの装置メーカーの日本法人。日本の市場においては商社を代理店として製品・保守を提供してきたが景気低迷期にあえて25年以上わたるユーザーを直接サポートするべく日本法人を立ち上げた。昨年より、ELITE解析(非破壊による不良位置特定技術)とウエハースキャン装置(半導体製造歩留向上支援)という新たな市場を作りだし事業拡大を図っている。

【コメント】既に20年以上、実績を重ねている米国DCG Systems Inc.の100%子会社です。半導体テスト解析システムの製造・販売および保守点検サービス、システムを使用した修正・解析の代行をメイン業務としています。主要顧客は国内外ともに名だたる大企業が名を連ね、その実績と信頼度には目を見張るものがあります。設計検証、不良解析、回路修正など、この部門では類を見ない優れた商品を提供されています。

3. 株式会社クレステック 代表者 大井 英之 氏

【設立】1995年2月

【住所】東京都八王子市大和田町 1-9-2 【資本金】45,000 千円

【事業概要】超微細加工の切札的存在である電子線描画装置(EBL)を3機種開発・製造・販売。①XYZ 型 EBL(CABL9000C)は、0.0012nm の位置決め分解能を持ち、波長多重通信用の半導体レーザ製品を直描によって生産。②Xθ 型 EB マスタリング装置(CEBR3000)は、HDD パターンメディア(DTM,BPM)の原盤の生産可能。世界で初めて 2.5"原盤のシームレス連続全面描画を達成。③面電子源にアクティブマトリクスを搭載したマスクレス超並列 EBL を東北大江刺教授等と共同開発中。集積化 MEMS や 15nm 以降の LSI 生産用を目指す。

【コメント】電子ビームによるナノテクノロジーの発展に貢献されてきました。これまで内閣府やNEDOを始め、公的なプロジェクトにも関わってこれ、電子ビームによるリソグラフィ装置の発展に大きく寄与してきた会社です。今後も技術系社員の確保と開発能力の向上、営業力の強化、海外サービス拠点の開設など、幅広く事業を推進していく予定とのことで、事業パートナーや人材・販路の面でも、ご紹介をお願い致します。





通常、発表企業は毎回
3～4社で、一社につき
30分のプレゼンテー
ションが行われます

スライドや資料に目を通しながら、熱心に聞き入る参加者の皆様



～～～ 特別講演会 ～～～

「新時代におけるベンチャー企業の成長戦略 ～イノベティブカンパニーをめざして～」

講演者： 吳 雅俊

NPO 法人ベンチャー支援機構 TSUNAMI 副理事長
一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 会長
(株)TSUNAMI ネットワークパートナーズ 代表取締役社長

1. 新規上場の動向

昨年に新規上場した企業をみると、12月末までの株価は1社を除きすべてマイナスになっている。そういう悲惨な状況にある。

2. ベンチャーキャピタルの動向

国内ベンチャーキャピタルの年間投資額は激減している。投資額は韓国よりも少ない。日本は現在驚くべきほど低調である。ファンドの組成数があまりにも少なすぎる。2006年3月期は70であったが、2010年3月期は15であった。これは由々しき問題であり氷河期である。

3. 日本の経済成長とベンチャーへの期待

かつてはローン中心の「見えるアセットへの投資」であった。ところが、現在の市場成熟期においては、エクイティ指向で、見えないものへの投資の時代に入ってきている。

4 ベンチャー政策の歴史と近年の傾向

近年の傾向として、誰も反対しないが誰も動かないのが現状だ。

5 産業創出のために

本来、新産業を生み出すことに寄与しているのはベンチャーキャピタルである。日本では正しく理解されていない側面もある。現在IPO市場の活性化を図るために、金融庁による審議会の設置、また、東証の評価基準を、将来性を評価する形に切り替える動きが出てきている。海外から日本への投資は現在課税されているのも問題だ。アメリカでは年金からの投資が活発であるが、日本は年金からプライベートエクイティへの投資ができないシステムだ。

6 新時代の成長戦略

3つのキーファクター、【グローバル、モチベーション、アイデンティティ】であり、前から言われていた、これら3つのファクターを見直そう。



講演会後に行われた懇親会の様子。なごやかな雰囲気のもと、歓談されていました。

《コメント》 1月はお休みでしたので、2カ月ぶりの開催でしたが、大変多くの方々にご参加頂き、ありがとうございました。左写真のとおり、発表会・講演会後は懇親会が行われ、名刺交換や歓談が活発に行われていました。本年も1、8月を除き、毎月第二水曜日に発表会を開催いたしますので、ご参加をお待ちしています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

★★★★ 今後の活動予定 ★★★★★
第135回「TSUNAMI」ビジネスプラン発表会

日 時：平成23年3月9日(水)
発表会：13:30～(発表後、交流会)

会 場：学校法人 岩崎学園 横浜西口2号館
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-17
相鉄岩崎学園ビル内8階(横浜駅西口より徒歩3分)
※発表企業詳細は追ってご連絡致します。

NPO 法人ベンチャー支援機構 TSUNAMI
(TEL)045-470-8668 (FAX) 045-470-8818
大森/奈尾
(株)TSUNAMI ネットワークパートナーズ
(株)TSUNAMI オンザロード
(TEL)045-470-8088 (FAX) 045-470-8090
井汲/飯塚/吉岡